

平成 29 年 8 月 2 日に開催された日本歯科医学会第 96 回臨時評議員会 における学会会長挨拶

評議員のみなさまには今期はじめてのご挨拶をさせていただきます、学会長の住友雅人です

私は 3 期目を担当させていただきますが、ここにおられる役員のみなさま方とともに気持ちを新たに、任務を務めていく所存でございます。今期、新しくスタートさせる事業とともに、組織には継続性が求められますので、これまでに取り組んできた事業の具現化に向けてもしっかりと取り組んでまいります。ご協力、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

これからの具体的な取り組みについては後ほどの学会長報告でお話しすることにいたしますが、日本歯科医師会も 2 期目を迎えた堀執行部がはっきりとした方向性を示し、活動されていること、一般社団法人日本歯科医学会連合が昨年の 4 月に設立されたことによって、日本歯科医学会の立ち位置というか、何をなすかという目標が絞られてきました。具体的には、これまで通り各分科会の横系作りを進めること、そして、日本歯科医師会会員に資する学術的支援事業を展開することです。これまでよく例え話として述べられていました、日本歯科医師会と日本歯科医学会は車の両輪という時代は終わり、学会は日本歯科医師会という車のエンジンに付属するターボチャージャーの役割をする時代が参りました。ターボシステムをフルに使うにあたっては各部の負担も増えてきます。また一方、ターボシステムに関する知識を持ち、駆使できる運転技術が必要になります。各部の負担を減ずるための手段として各分科会会員の日本歯科医師会への入会が求められます。そして、知識、技術を獲得するためには日本歯科医師会会員の分科会入会が求められます。私はこの戦略が歯科界を推進させる最善の策だと信じています。もちろんここにはターボ車の生産やメンテナンスに関わる産業界の協力も欠かせません。

歯科界の更なる進展のために、この執行部はこれからの 2 年間、汗をかいて参ります。この汗はみなさま方とも共有して参りたく存じます。よろしくお願いいたします。

本日は学会第 96 回臨時評議員会へのご出席、誠にありがとうございました。